

様式 1 〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 8 年 8 月 1 1 日

議会運営委員会

委員長 山崎 まゆみ 様

議会運営委員会

委員 川瀬 孝代

研 修 報 告 書

研修期間	令和 8 年 8 月 3 日（月） ～ 8 月 4 日（火）【2 日間】
研修（視察）先	大阪府和泉市役所 滋賀県大津市役所
目的（テーマ等）	議会改革活性化会議について 議会 BCP・議会防災訓練について
特記事項	参加（委員 6 名・議長）事務局

※ 目的、研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 川瀬孝代 〕

目的、研修概要

和泉市は大阪南部、泉州地域に位置し、人口は約 18 万 1 千人で総面積が 84.98 km²であり、大阪都心へのアクセスの利便性、ベッドタウンとして発展しています。

和泉市は、議会改革において「早稲田大学マニフェスト研究所」が実施している「議会調査」で調査項目のあることをつみ重ねて改革の成果を上げ推進しています。議会運営の取り組みの中で、東員町議会として「議会改革活性化会議について」学び、参考とするため視察研修としました。

内容

議会事務局総務課課長補佐・主事より丁寧に説明がありました。

議会運営・議会改革について

和泉市では平成 18 年に「議会改革検討会議」を設置して、議会改革に関する問題を調査項目に掲げて、他市町の事例や状況を調査しながら推進していましたが、協議する事項が少なくなったことから、令和 2 年に「議会改革検討会議」を終了しました。

その後、市議会を取り巻く状況が変化していき改革推進の検討の場が必要との意見があり、令和 5 年に「議会改革活性化会議」を設置しました。

開かれた議会について

「UD トーク」を導入し、聴覚障がい者等が円滑に本会議や委員会を傍聴できる環境整備として、音声認識により発言を文字化するためのアプリを活用しています。聴覚障がい者など様ざま方のコミュニケーションをサポートするためのものです。聴覚障がい者の傍聴の来訪が増加しています。

「ヒアリンググループ」の導入、難聴者の聞こえを支援する設備で、マイク音声を補聴器・人口内耳へ直接届けることで、雑音が少ない音声を提供できます。

議会改革の一環として本会議「インターネット配信」編集やアップロード作業、トラブル対応は委託先が行う委員会 YouTube 配信ライブ配信するため職員対応で編集済みの録画映像をアップロードしています。

議会 BCP について、東日本大震災の教訓から策定の流れが加速し、南海トラフ地震の被害に備えて策定しました。議会機能の維持、迅速な意思決定、市民ニーズの反映に資するとして、令和 5 年に策定しました。

タブレット導入、電子採決、住民参画、市議会だより、議場見学、子ども議会、議大学との事業連携の検討、反問権の導入などの取り組みがありました。

所感

和泉市議会の議会改革について、制度整備も必要ですが、市民参加、市民に議会を理解してもらう、近づけていく障がいのある方にも視点を置き誰もが議会に参画できる、参加しやすい環境づくりに努めていく、開かれた議会において地道な取り組み、積極的な議会活動の姿勢に強い感銘を受けました

本町においても、議会改革を進めるにあたって視察で得た知見を」共有し大変参考となりましたのでいかしていきたいと思いますが、「議会改革活性化会議」は議長の管轄であります、議会運営委員会としてどのようにしていくのか課題であると思いました。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 川瀬孝代 〕

目的、研修概要

大津市は、滋賀県の南西端に位置し、県庁所在地で中核市です。琵琶湖のあるところです。人口は 34 万 4 千人で面積は、464.51 km²です。

大津市議会は議会 BCP の先進地事例として取り上げられており、議会 BCP に基づいた防災訓練とオンライン会議を活用した取り組みについて学び・参考としていくために視察研修としました。

内容

大津市議会局議会総務課・課長補佐より説明がありました。

議会 BCP は、政策検討会議を立ち上げ、東日本大震災や大津市南部豪雨災害において、災害時の議会のあり方や大規模災害に備えた体制整備の必要性を認識し平成 26 年に策定をしました。災害時の議会活動の強みと弱み、災害時に議会が果たすべき役割・責任、議会 BCP の目的と考慮すべき議員の特性を整理しています。

業務継続会議が設置された時は、その構成員である議員は優先して災害対応に専念する。個々の議員から直接一行部に対して情報提供や要望等行わない、など明記しています。防災訓練については、令和 7 年事例を紹介、オンラインによる業務継続体制を確立しています。災害対策会議を開き、訓練当日は役割分担表を時系列で作成しています。議会 BCP の見直しを実施しています。

所感

災害時での議会としての意思決定や情報収集の機能をとめないために平時からの訓練と運用が重要であり、運用の見直しは実施しながら改善検討されていることがわかりました。

オンラインを活用した訓練は登庁できない状況でも議会機能を維持できることからオンライン会議の活用は活動を続ける備えとして必要であると考えられる。

本町議会として議会 BCP を作成しています、防災訓練を実施し、議会の役割や行動を示していくことが重要です。今後の議会での防災体制の強化としての参考となる内容でした。

大津市議会は通年議会を実施しています、議会 BCP との関連は必要であるとの見解でありました。

議会運営委員会として方向性を示していくべきと思いました